

神奈川大学における アジア研究情報

2016 年度

本リストには各研究所より提供されたアジアに関する研究情報（学術交流も含む）及び神奈川大学公式 HP「研究者情報」から抽出したものを記載した。

法学研究科

阿部 浩己（あべ こうき）

（著書）

- ・『沖縄が問う日本の安全保障』共編著、岩波書店、2015 年
- ・『アジア太平洋戦争辞典』吉川弘文館、2015 年（「開戦に関する条約」「戦時海軍力ヲ以テスル砲撃ニ関スル条約」「戦時国際法」「戦争違法化」「ハーグ陸戦法規」「不戦条約」の 6 項目を担当）

（論文）

- ・「国際法における性奴隷制と『慰安婦』制度」『季刊 戦争責任研究』第 84 号、2015 年、30～42 ページ
- ・「過去の不正義と国際法―日韓国交正常化 50 周年に寄せて」『法律時報』第 87 卷 10 号、2015 年、4～9 ページ

（その他）

- ・「論壇時評 安全保障の実景」『神奈川大学評論』第 82 号、2015 年、174～183 ページ「座談会 『展望 沖縄の自己決定権』」『琉球新報』2015 年 12 月 19 日「不正義への合意、再び」前田朗編著『「慰安婦」問題・日韓「合意」を考える』所収、彩流社、2016 年、71～73 ページ

（学会報告・シンポジウムなど）

- ・「国際法を見つめ直し、国際法でつながり直す」シンポジウム〈検証 日韓条約・請求権協定〉（2015 年 6 月 20 日）
- ・「日韓条約締結 50 周年 何が解決され、何が未解決か」2015 年度川崎・富川市民交流会学習会（2015 年 7 月 18 日）
- ・「国際法から見た『琉球処分』」琉球新報社主催シンポジウム〈沖縄からの問い、応答する責任〉（2015 年 9 月 23 日）
- ・「歴史、人権、国際法の視座」平和学会 2015 年度研究集会・国際シンポジウム〈東アジアで平和を問う〉（2015 年 11 月 29 日）
- ・「国際法における過去の不正義と日韓請求権協定」韓国法史学会第 115 回定期学術発表会（ソウル大学、2015 年 12 月 19 日）
- ・「国際法における過去の不正義」法を通じた韓日間の過去清算シンポジウム（慶北大学、2015 年 12 月 21 日）

法学部

佐橋 亮（さはし りょう）

（単著）

- ・『共存の模索 アメリカと「二つの中国」の冷戦史』勁草書房、2015 年、340 頁。

[共著・分担執筆]

- ・「東アジアの安全保障秩序構想」木宮正史編『講座日本の安全保障Ⅵ 朝鮮半島・東アジア』岩波書店、2015年6月。

(論文)

- ・「米中国交正常化と台湾問題の『不完全な決着』」『神奈川法学』第47巻3号、65-117頁。
- ・I. R. Sahashi, "Disaster Relief and Risk Reduction in East Asia: the role of Japan-ASEAN Partnership," in Mely Anthony and Chikako Ueki (eds.), *Navigating Change: Japan-ASEAN Strategic Partnership in East Asia*, Center for Strategic and International Studies (Indonesia) and Japan Center for International Exchange, 2015, 131-149.

[その他]

- ・「進化するアメリカのアジア安全保障協力と限界」『東亜』(霞山会)、2015年8月号、4-5頁。
- ・"Post-Abe: Back to the Future for Japan?" *Asian Unbound*, Council on Foreign Relations, 29th of February, 2016.
- ・"Japan's vision for the East Asian security order," *East Asia Forum* (Canberra: Australian National University Press), 23rd of February, 2016.
- ・"Fixing the Relationship: A Japanese Perspective," *East Asia Forum Quarterly* (Canberra: Australian National University Press), vol 7, no. 3, September 2015, pp. 12-14.

経済学部

秋山 憲治 (あきやま けんじ)

(論文・研究ノート)

- ・「西部大開発とチベット地方の水問題」(研究ノート) アジア研究センター年報2015—2016『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 3)、2016年3月31日、108-118頁
- ・(講演)「カンボジアの経済発展—課題と展望—」神奈川大学生涯学習・エクステンション講座、2015年10月8日
- ・(研究調査報告)「カンボジアを訪問して」アジア研究センター・ニュース・レター『CAS News Letter』(No. 4) 2015年12月

(セミナー報告)

- ・「神奈川大学アジア研究センターの研究課題とアジアの水問題」上海師範大学 2016年3月14日

(自著紹介)

- ・『*Rebirth of the Silk Road and a New Era FOR Eurasia*』アジア研究センター年報2015—2016『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 3)、2016年3月31日、160-162頁

(書評)

- ・『アジア経済史：研究入門』アジア研究センター年報2015—2016『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol. 3)、2016年3月31日、167-168頁

経営学部

泉水 英計

(単著)

- ・『渋沢敬三のみた満洲』2015年8月 哈爾濱師範大学夢溪賓館

廣田 律子 (ヒロタ リツコ)

(著書)

- ・「中国の仮面と仮面劇」(単著)『能面を科学する—世界の仮面と演劇—』勉誠出版、2016年3月、pp. 93-121

(論文)

- ・湖南省藍山県過山瑶的還家愿儀礼与盤王伝承及其歌唱(中文)(単著)『民俗曲藝』第188期 財団法人世合鄭民俗文化基金会、2015年6月、pp. 177-249
- ・「ヤオ族儀礼文献の文化資源としての活用—文献資料のデータ化と公開へ向けての試み—」(単著)『平成26年度助成研究等報告書』公益財団法人横浜学術教育振興財団、2015年8月、pp. 5-7

(その他)

- ・共同発表「儀礼における歌書の読誦—湖南省藍山県ヤオ族還家愿儀礼に行なわれる歌問答—」『国際シンポジウムヤオ族の歌謡と儀礼』ヤオ族文化研究所 神奈川大学横浜キャンパス(於神奈川県) 2015年11月28日

高城 玲(たかぎ りょう)

(著書)

- ・宮本瑞夫、佐野賢治、北村皆雄、原田健一、岡田一男、内田順子、高城玲(共編)2016年3月『DVDブック 甦る民俗映像—渋沢敬三と宮本馨太郎が撮った1930年代の日本・アジア』東京:岩波書店。

(その他)

- ・高城 玲 2016年3月「書評:辛島理人著『帝国日本のアジア研究—総力戦体制・経済リアリズム・民主社会主義』」『神奈川大学アジア・レビュー』3:164-166。

田中 則仁(たなか のりひと)

(論文)

- ・「国際企業環境とアジアの地域統合—インフラ形成の一考察—」『国際経営論集』神奈川大学経営学部、第51巻、2016年3月
- ・「国際企業環境の課題—アジア地域におけるインフラ形成の一考察—」『国際経営論集』神奈川大学経営学部、第50巻、2015年11月
- ・「中小企業の経営環境と経営革新」SME研究センター中間報告『国際経営フォーラム』神奈川大学国際経営研究所、2015年11月

(その他)

- ・海外研究調査:マレーシア、シンガポールにおける進出日系企業の事業活動について訪問調査。2015年9月

外国語学部

孫 安石(そん あんそく)

(論文)

- ・孫安石「中華民国留日学生監督処の研究」(『近現代中国人日本留学生の諸相』、神奈川大学人文学研究叢書、2015年4月)
- ・孫安石「日中戦争と上海の日本語放送」(『戦争・ラジオ・記憶』、勉誠出版、2015年7月)

(その他)

- ・孫安石「North China Heraldと『良友』画報」(第56回『良友』画報研究会、2016年2月19日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス)口頭報告
- ・孫安石「上海の歴史変遷と都市計画—大上海都市計画」(神奈川大学、2015年「横浜と上海」市民講座、11月9日)口頭報告
- ・孫安石「日本軍的声音統制—以日中戦争时期的无线广播、唱片为例」(上海社会科学院、歴史研究所、

国際シンポジウム、2015年7月10日) 口頭報告

中林 広一 (なかばやし ひろかず)

(共編)

- ・大澤正昭・中林広一編『春耕のとき—中国農業史研究からの出発』汲古書院、2015年
(論文)
- ・「読む・見る・聞く・書く・触れる—総論にかえて」大澤正昭・中林広一編『春耕のとき—中国農業史研究からの出発』汲古書院、2015年、1-48ページ

久田 和孝 (ひさだ かずたか)

(その他)

- ・講演「21世紀型日韓交流—韓国の本音、日本の建前、韓流の衝撃(外国人の人権)」横浜市中区人権啓発研修(横浜市中区役所) 講演「日韓関係の立て直し」「アジアの世紀」と日本の選択(神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター・アジア研究センター共催講座)

村井 寛志 (むらい ひろし)

(論文)

- ・村井寛志、〈反共动员、公民化和阳奉阴违：马来西亚紧急状态时期安置事业当中的殖民政府、华人领袖和当地居民〉、《变迁中的马来西亚与华人社会：2014年第二届马来西亚华人研究国际双年会论文集(社会与政治卷)》、吉隆坡：华社研究中心、2015年11月村井寛志「香港の環境保護団体—NGO3団体、及び政府系環境教育機関への聞き取りから—」(アジア研究センター年報2015-2016『神奈川大学アジア・レビュー』3、3、18-28頁)
- ・村井寛志「返還後の「香港人」アイデンティティの展開—大陸との関係で揺れ動く住民感情—」(倉田徹・吉川雅之編『香港を知るための60章』(明石書店、2016年)

人間科学部

永野 善子 (ながの よしこ)

(単著)

- 『日本／フィリピン歴史対話：グローバル化時代のなかで』御茶の水書房、2016年3月

工学部

山家 京子 (やまが きょうこ)

(論文)

- ・山家京子、重村力、三笠友洋、鄭一止：東アジア大学建築都市デザインワークショップの定期開催、第15回建築教育シンポジウム、建築教育研究論文報告集、No. 15, pp 7-11, 2016. 1.

客員教授

後藤 晃 (ごとう あきら)

(編著書)

- ・『オアシス社会50年の軌跡』御茶の水書房、2015年共著
(共著)
- ・『民具の名称に関する基礎的研究』国際定民文化研究機構、2015年

・『アジア経済史研究入門』名古屋大学出版会、2015年

客員研究員

ケイワン・アブドリ

(著書)

・『中国・日本の国際関係』六角書房、2015年

(論文)

・「アジアの安全保障と輸出管理—アジアにおける不正輸出研究—」(共著)『国際関係学会年報』第12号、2015年、45～54ページ

平川 均 (ひらかわ ひとし)

(論文)

・分担執筆(単著)「世界の経済と変わる東アジア—地域協力のアジアと共同体への課題—」李鋼哲編『アジア共同体の創成プロセス』日本僑報社、2015年4月刊、pp. 147-168。

・分担執筆(単著)「日本の東アジア政策とアジア観の変遷—近代から現代まで—」Urs Matthias Zachmann und Christian Uhl Hrsg (2015) Japan und das Problem der Moderne, Iudicium Verlag, Munchen, Germany, Mai, 2015年5月刊、pp. 25-42。

・分担執筆(単著)「成長の東アジアと相剋の日・中韓関係—重層化する課題の相剋に向けて—」星野富一・岩内秀徳編『東アジア共同体構想と日中韓関係の再構築』昭和堂、2015年10月刊、pp. 41-67。

(共編著)

・(平川・石川幸一・山本博史・小林尚朗他編)『新・アジア経済論』文真堂、2016年2月刊、p. 239。

(分担執筆(単著))

・「構造転換の世界経済と新興経済、そして周辺経済」ボルジギン・フスレ編『日中関係の歴史、現状と展望—21世紀東アジア新秩序の構築に向けて—』風響社、2016年3月刊、pp. 129-145。